

# 一般質問



日笠 朝子 議員



録画映像

北斗市立小・中学校における全国学力・学習状況調査等の結果に関する件

**問** 全国・全道平均を下回ったが、新たな対策は

**答** 教育長  
授業改善と教職員の意識改革に努めてまいりたい

**問** 北斗市の子どもたちは、令和5年4月に行われた調査において、すべての教科で全国・全道平均を下回りました。新たな対策を考える時期に来ていると考えますが、見解をお聞かせください。

**答** (教育長) 市では、新学習指導要領に沿った授業改善研修会、先進地視察などを実施しているところであり、本年度においては、教頭、主幹のほか、一般教諭の先進地視察を進めており、教育委員会及び教職員が構成する学力向上プロジェクトチームが中心となって授業改善に取り組むとともに、子どもたちの学習意欲の向上を図るため、今後も、さらなる教職員の意識改革に努めてまいりたい。  
なお、学習状況の調査結果では、学力

向上のために、それぞれの家庭と学校による協力が引き続き必要であるものと考えています。

保育施設の潜在的待機児童数に関する件

**問** 令和5年度に潜在的待機児童のいなかった月はあるのか

**答** 市長  
潜在的待機児童のいなかった月はありません

**問** 働き続けたいと思っている、育児中の家族は、預けたい時に子どもを預けられる環境の地域に住みたいと考えます。北斗市の保育施設の潜在的待機児童数について、お伺いします。

(1) 令和5年4月と10月の潜在的待機児童数は、  
(2) 令和5年度に潜在的待機児童のいなかった月があればお知らせください。  
**答** (市長) (1) 潜在的待機児童数について、令和5年4月は22名、10月は11名となっています。  
(2) 令和5年度に潜在的待機児童のいなかった月はありません。  
**問** 10月になると減っているのはなぜか。

**答** (子育て支援課長) 市では、毎月保育施設入所の受け付けを行っており、申し込みされた方の8割の方が1カ月以内に、残りの2割の方が平均3カ月程度で入所されている状況で、4月と10月の差は、毎月入所と退所が繰り返されるため、その差分になります。

北海道新幹線トンネル工事掘削発生土に関する件

**問** 村山地区受入地セレン浄化システムの稼働状況は

**答** 市長  
有効に機能しているとの報告を受けている

**問** 北海道新幹線トンネル工事掘削土の対策土を受け入れた村山地区受入地では、地下水から国の基準値を超えるセレンが検出され続けており、鉄道・運輸機構は、セレン浄化システムを稼働中です。

また、柳沢地区仮置場においては、レイアウト変更により受入土量を拡大し、対策土を受け入れ続けています。  
以下の点についてお伺いします。  
(1) セレン浄化システムの稼働状況  
(2) 柳沢地区仮置場のレイアウト変更状況及び対策土の受入状況

**答** (市長) (1) 本システムの現状については、昨年12月から、処理を加速させるため、1日当たりの稼働時間を8時間から24時間へと変更し、1日当たり約2万8千800Lの地下水を汲み上げ、セレンの除去処理等が継続されています。

処理後は、セレンの環境基準値よりも低い値となっていることから、本システムが有効に機能しているとの報告を受けています。

(2) 現在、鉄道・運輸機構が、再拡張への仮置きに向けた準備を進めており、今月下旬から、対策土の仮置きを開始する予定との報告を受けています。

また、柳沢地区仮置場への搬入状況については、2月20日時点で、約18万㎡の対策土が搬入されているとの報告を受けています。



村山地区受入地で稼働中のセレン浄化システム  
〔提供：JRTT鉄道・運輸機構〕

